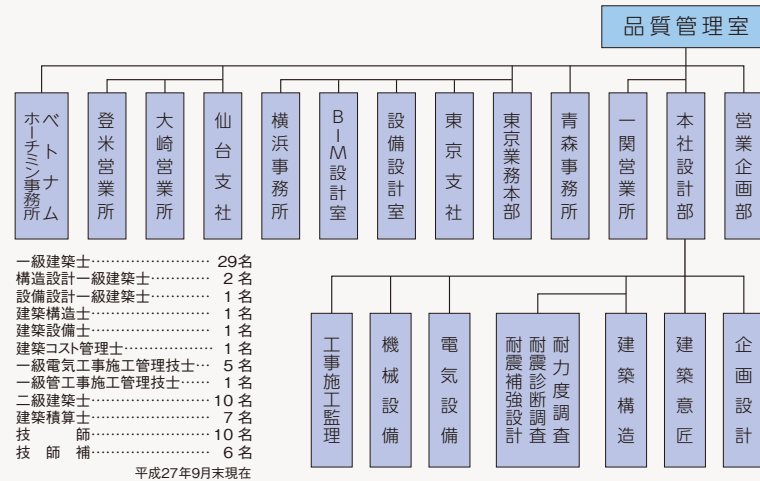


移転改築となりました新「すみた荘」は、これまでの既存施設に比べて入所定員を17床増床し、全80床の全室個室のプライバシーに配慮された冷暖房完備の施設です。短期入所利用者の専用居室も整備され在宅の高齢者にも利用しやすい施設となっております。

施設の大きな特徴であります木造に加えて、入所者の生活にやさしい空間づくりにも配慮し計画いたしました。段差のない床とともに共用部分やトイレには手摺を設置し、引き戸を中心とした建具の採用など、充分なユニバーサルデザインを実施し安全な住環境を構築いたしました。入所者の皆様に少しでも気に入っていただき愛着を持って暮らしていただければと思います。



組織図



KUJI ARCHITECTS NETWORK

(株)久慈設計

本社	岩手県盛岡市紺屋町3-11 TEL.019-624-2020/FAX.019-622-7720 [岩手県知事登録(さ)第5号] (社)岩手県建築士事務所協会会員	東京業務本部	東京都千代田区西神田二丁目5-2 TASビル5階 TEL.03-6682-4111 FAX.03-6682-4070/FAX.03-6682-4071 [東京都知事登録第54196号] (社)東京都建築士事務所協会会員
一関営業所	岩手県一関市山目字前田42-8 TEL.0191-26-2006/FAX.0191-23-7550 [岩手県知事登録(あ)第1657号]	横浜事務所	神奈川県横浜市港北区箕輪町1-8 TEL.045-286-0092/FAX.045-286-0093
仙台支社	宮城県仙台市青葉区八幡5-3-11 久慈設計仙台ビル TEL.022-727-8780/FAX.022-727-8781 [宮城県知事登録第12510018号] (社)宮城県建築士事務所協会会員	大崎営業所	宮城県大崎市古川小泉字大小441-1 エクセレント ファム102号 TEL.0229-24-5020/FAX.0229-24-5029
		登米営業所	宮城県登米市迫町北方字山ノ上35番地4-103号 TEL.0220-21-5633/FAX.0220-21-5644
		ベトナム ホーチン事務所	38 Road 8, KDC-GiaHoa II, PhongPhu, BinhChanh-Dist, TP-HCM, Vietnam

Always with a SMILE!

2015 10月号

Vol.127

地元産木材による地産地消の施設造り

特集

社会福祉法人鳴瀬会  
新「すみた荘」





社会福祉法人鳴瀬会  
すみた荘  
理事長  
櫻井 末男 様

## ご挨拶

長年の懸案でありました、新「すみた荘」の建築工事に関係各位のご協力とご努力によりこのたび落成の運びとなりました。皆様には厚く御礼を申し上げます。

昭和60年4月に開設した特別養護老人ホームすみた荘も30年が経過し、施設への入所も開設当時の措置から平成12年4月の介護保険制度による契約へと変わり、時代の変化とともに高齢者の状況も変化し、自宅で暮らすことが困難な状況が多く見られるようになってきています。このような状況から施設の老朽化とあいまって、岩手県・住田町の支援を得て新施設の建設となりました。

新しいすみた荘は、住田町産材をふんだんに使用した木造のユニット型完全個室の施設となっております。また暖房や給湯は木質チップボイラーを導入し、環境にも配慮した施設になっています。新施設では入居者一人ひとりがその人らしく暮らしていける施設を目指しサービスの充実に努めてまいります。

新施設の開所を機に、気持ちも新たに社会福祉法人鳴瀬会役員一同、より一層の努力を重ね励んで参りますので、皆様のあたたかいご支援、ご努力をお願い申し上げます。

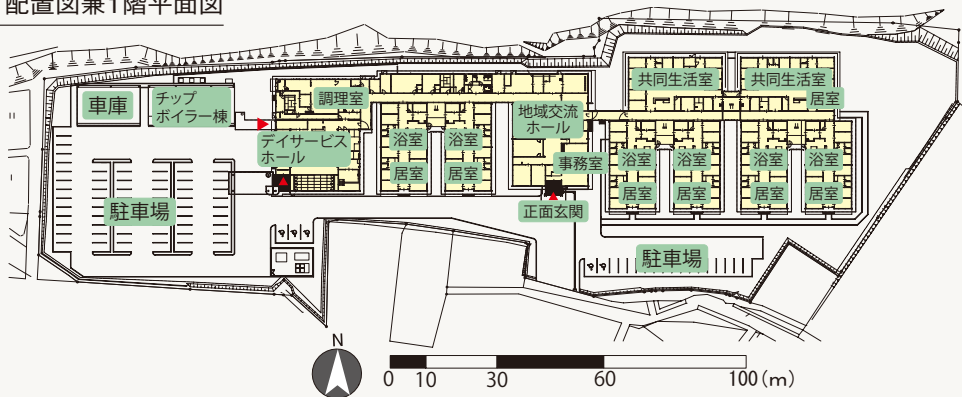


### 社会福祉法人 鳴瀬会 特別養護老人ホーム

### 新「すみた荘」

施工地／岩手県気仙郡住田町世田米字川向8-2  
竣工年月／平成27年8月  
敷地面積／15,489.03m<sup>2</sup>  
延床面積／5,006.10m<sup>2</sup>  
構造／木造一部鉄筋コンクリート造 平屋建  
入所定員／80床

配置図兼1階平面図



## 安らぎある生活空間

社会福祉法人鳴瀬会様が運営する、「すみた荘」は住田町内で唯一の特別養護老人ホームとして、昭和60年の開所から同町の高齢者福祉事業を支えて参りましたが、施設の老朽化や入所希望者の増加に 대응するため平成27年9月に新「すみた荘」を移転し開所されました。新施設は入所者が自身の部屋としてゆっくりとくつろぎながら、自立した生活が送れるよう全室個室とし、共同生活スペースを中心とした10室を1単位とする8ユニットで構成し、木の温もりに満ちた木造平屋建の施設内は、在宅の住環境に近い家庭的な雰囲気と安らぎのある共同生活空間となっております。



居室



共同生活室

## 利用木材の65%が住田町産木材

外観は複数の連続した各ユニットが交流ホール棟とデイサービスホールを中心に切妻屋根を形成し、個々の建物を連続させることで長屋群を構築し、和風建築物による新たな集落の創出をイメージする計画としました。内部は「森林・林業日本一を目指すまち住田町」に建つ施設として同町産の木材を多用する計画としました。交流ホールやデイサービスホールは柱や梁を前面に表現する大空間とし、ホール内の連続した4本の大黒柱には町産の杉材を採用、腰壁も杉材の羽目板とし自然素材の持つ柔らかな空間を構築しました。施設の建設において使用した住田町産木材は全木材量823m<sup>3</sup>のうち約65%の533m<sup>3</sup>におよび、給湯や床暖房の熱源となる木質チップボイラーの採用などと共に、木材資源の有効利用に努める環境共生型施設として、地域の林業振興と木材産業の活性化に貢献する施設となっております。



地域交流ホール



デイサービスホール



チップボイラー棟内部



多機能トイレ



ユニット個浴室